

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		コンビニ（経営者）	・7～8月の真夏は、コンビニが一番得意なシーズンであり、期待できる。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・今年は猛暑になりそうなので、夏物商材に期待できる。
		スーパー（副店長）	・自分の生活からは余り感じないが、世間では夏のボーナスが過去最高額という話で、世間的には景気が良いという期待も込めて、少し良くなる。
		スナック（経営者）	・来客数が上向いてきたので、一安心している。このまま上向いてもらいたいとの期待を込めている。
		都市型ホテル（支配人）	・夏に向けて公共の行事やイベントが毎週計画され、7～9月の宿泊予約は順調に入ってきている。
		旅行代理店（副支店長）	・夏休み期間の受注が気になるところだが、動きは乏しい。また、大阪北部地震の今後が気になるところで、風評被害が懸念される。秋までの受注は前年同時期を、上回ってきている。
		遊園地（職員）	・今後も、新規施設やイベント実施等により、引き続き多くの客の来園を期待する。
		ゴルフ場（経営者）	・企業コンペの増加など、大企業が蓄えた利益を広く分配すれば、景気は良くなる可能性もある。
		商店街（代表者）	・今後3か月くらいは、スポーツシーズン中なので、極端な落ち込みもなく、変わらない。
		商店街（代表者）	・6月中に早くも梅雨明け宣言が出て、今後も異常気象が続くそうである。売上予想が立てにくい。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・季節商材の売上に期待したいが、今のところ先の予測が出来ない。ボーナスシーズンも到来するが、ボーナス支給について話題にすら上らず、消費者の購入意欲が感じられない。
		百貨店（営業担当）	・今の客の様子をみていると、悪くなる要素はないので、変わらないかやや上向きになっていくところである。
		百貨店（売場担当）	・今月は特殊与件があり、2けたの伸びをみせたが、クリアランスセールの前倒し分が、当然7月にはマイナスとなるので、細かな施策が重要となる。さらに、セールの開催期間が長くなることへの対策も必至である。
		スーパー（経営者）	・天候要因で来客数は安定しているが、平日の節約志向は変わらない。
		スーパー（経営者）	・来客数を増やすための販促強化をしていきたい。
		スーパー（経営者）	・5月の売上は前年比115%、来客数104%、6月は25日までで売上は同92%、来客数101%である。前年のイベント売上が6月70万円、7月160万円、8月170万円だったが、今年は6～7月にイベントがなく、8月にあるので、前年並みまで売上を確保していきたい。10月も大きなイベントがあるので、期待している。
		コンビニ（店長）	・今の悪い状況が、3か月たっても特別変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の準備が9月後半から始まるが、しばらくは今の状況が続くそうである。
		家電量販店（店長）	・世界情勢からも景気の先行きが不安である。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税を1年後に控え、引き続き、新車販売は堅調に推移するとみている。
	乗用車販売店（経営者）	・客の高齢化も進み、新車購入に慎重になっているようである。高齢者の事故防止のためにも、自動ブレーキなどの安全装置に、国の補助金などがあれば、新車販売の増加につながる気がする。	
	一般レストラン（経営者）	・地元客の動き、仕入原価高騰も重なり、しばらくは現状維持が精一杯である。	
	一般レストラン（経営者）	・期待できる要素がない。	
	観光型ホテル（支配人）	・残雪を見に来るインバウンド客も落ち着き、国内観光客がメインとなる夏のトップシーズンを迎えるが、良い兆しはあまり感じられない。予約は良くも悪くもなく、先行きが不透明である。	
	観光型旅館（経営者）	・前年行われたデスティネーションキャンペーンや、一昨年の大河ドラマイベントなどがなかったため、反動でやや悪い状況が続くとみている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・依然として、先の受注の動きが鈍い。加えて、フリー客の動きも良くはなく、これといった好材料が見当たらない。天候が安定し、人の動きが出れば良い方向に向かうと思うが、現状は天候以外に、全く良い材料が見当たらない。	
	通信会社（経営者）	・今年の秋にテレビの4K放送が始まるが、今のところ、客の期待感を全く感じられず、関心も薄い。	

		美容室（経営者）	・生活費を節約する客が多く、洋服の購入や美容施術を希望する客が少ないので、今後、売上は増えない。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・葬儀だけだと干上がってしまうが、永代供養墓や墓じまいの相談などで、何とかつないでいる。
		設計事務所（経営者）	・小型物件、改修などが多く、仕事量の割に収入は少ない。
		百貨店（店長）	・ここに来て売上が落ちている。地方百貨店はインバウンド客も少なく、客の購買動向も慎重な印象である。衣料品は引き続き良くないうえに、高額品も落ちている。
		コンビニ（エリア担当）	・人口減が続いているため、やや悪くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新製品の発売が一巡したため、やや悪くなる。
		スナック（経営者）	・夏に向けて日も長くなるので、飲みに出る機会も減ってくる。お盆休み等で行楽に出かけて、なかなかお金を使うパターンが少なくなるので、お盆明けまでは、恐らく暇である。
		タクシー運転手	・ここ1年、前年を上回った月は一度もない。今月も多分、同比95%で終わる。昼間はドライバーがいるので良いが、夜間のドライバーがいないので、夜に受注があってもこなせない状況である。
		住宅販売会社（従業員）	・主力である中古別荘の販売価格が下落傾向にあり、高額物件の動きも鈍い。
	x	一般レストラン（経営者）	・核家族化し、町中の人口減少が加速し、その少ない人口も郊外型の店舗に流れている。また、市街地でも大手フランチャイズの店舗や小さな店が、出来ては消えているので、客の分散が激しい。飲食にとどまらず、既存店は厳しい状況になっている。
	x	スナック（経営者）	・毎回のようによく悪くなると回答しているが、良くなる要素が見つからない。何か良い方法があったら、教えて欲しい。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		食料品製造業（営業統括）	・今月は国産ワインコンクールも開催されて、人気も更に高まるとみている。また、各社とも国際ワインコンクールに出品し、上位入賞している商品も多く、更に人気が出てくる。
		食料品製造業（総務担当）	・繁忙期を控えて総力戦が開始される。人員不足が恒常化し、バイトの時給も上がりつつある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想の立てにくい状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注状況に大きな変動がない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現状が続きそうである。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量は極端な伸びはないものの、安定してきている。
		建設業（経営者）	・受注は今後もあると思うが、既に資材は値上がり傾向である。また、技術者不足も心配である。
		金融業（調査担当）	・製造業がけん引する状況が続く見通しである。
		金融業（経営企画担当）	・消費者が必要以上の消費を抑えている感があり、景気の浮揚感はない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・6月中に梅雨明けしたことから、半月ほど長い夏商戦になりそうである。ホームセンターでは梅雨明け前日までとは違い、すだれやプールが前面に出ている。
		食料品製造業（製造担当）	・原油価格の高騰で、包装資材の値上げが始まり、輸送費も上がって、利益を出すのが厳しい状態である。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・海外の展示会では、中国人客向けの販売は、引き続き好調である。ただし、展示会全体では日本企業を除く出展社数、来場者数が共に減少傾向にある。
		x	出版・印刷・同関連産業（経営者）
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		職業安定所（職員）	・新規求人数が減少しているものの、極端な変動ではない。また、求人企業から人手不足の話を聞いており、採用意欲の低下は感じられないため、現状維持かやや良くなると見込まれる。
		人材派遣会社（営業担当）	・採用する側とされる側の折り合いがなかなかつかない。就職活動が上手くいかずに収入がないため、消費意欲は湧かないまま、景気は変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・当分、人手不足は変わらず、先行きも変化はない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者は増加しているが、在職者を中心に、求人条件の確認等に慎重さがうかがわれ、即応募にはつながらず、人手不足の状況は変わらない。

	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は、3か月連続で減少してはいるものの、定年等の退職者によるものであり、求人数は相変わらず高水準を維持している。また、来年度の高校の新卒求人は、前年を更に上回るペースで増加傾向にあり、人手不足を訴える事業所は多い。ただし、前月に引き続き、業績には反映していないという事業所からの声も届いており、今後の景気動向は悪化はせずに、しばらくは現状維持と判断している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業で、パート、契約等の求人が多く、希望者多数の正社員求人には大きな変化がないものの、パートから正社員に切り替えて募集する企業も出始めている。
	-	-
x	-	-